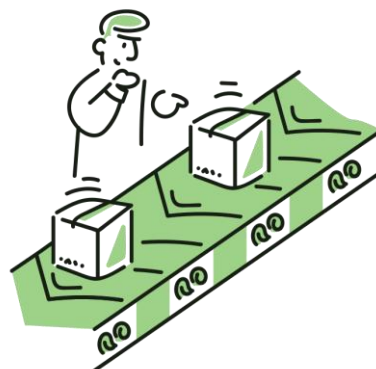


「とちぎの食と農業アクションプロジェクト」 ～令和6年度の取組実績について～



【令和6年度の主な取組】

①各種コンテストの開催

- ・ロゴマーク・キャッチフレーズ
- ・地産地消レシピ&フォト
- ・食と農業PR動画

②食と農業トークショーの開催

①各種コンテストの開催

ロゴマーク・キャッチフレーズの募集

賞 (作品番号)	優秀賞 (No. 142)	優秀賞 (No. 245)	優秀賞 (No. 254)
ロゴ マーク	 とちぎの食と農業 アクションプロジェクト	 とちぎの食と農業 アクションプロジェクト Tochigi Food and Agriculture Action Project	 とちぎの食と農業 アクションプロジェクト
キャッチ フレーズ	育てよう、とちぎの「食」の みらい	未来の食卓を、みんなの手で。	育てて。食べて。喜ぶ。とちぎの 人から。
受賞者	鹿沼市 田口義尚さん	宇都宮市 稲田亜虹さん	さくら市 尾股祐子さん

応募期間 令和6年12月6日～令和7年1月15日

応募総数 389点

①各種コンテストの開催 地産地消レシピ&フォトコンテスト

賞 (作品番号)	最優秀賞 (No. 13)	優秀賞 (No. 15)	優秀賞 (No. 181)
フォト			
レシピ名	ニラと干瓢のペペロンチーノ	あいかサラダ	かんぴょう焼き小籠包
受賞者	宇都宮市 circleGo!さん	宇都宮市 芝田龍星さん	兵庫県 こっこさん

応募期間 令和6年12月16日～令和7年1月24日

応募総数 124点

①各種コンテストの開催 食と農業PR動画コンテスト

賞 (作品番号)	最優秀賞 (No. 9)	優秀賞 (No. 2)	優秀賞 (No. 8)
動画			
動画名	食と農業PR動画	栃木県のいちごがアホほど 美味しいワケ	美菜で色づく栃木の食卓
受賞者	神奈川県 石下倅平さん	富山県 レボレポさん	埼玉県 斎藤彩加さん

応募期間 令和6年12月16日～令和7年2月7日

応募総数 13点

※ 使用を希望する場合は、栃木県農政課までご連絡をお願いします。

各受賞作品を上映いたします

②食と農業トークショー



開催日：令和7年2月22日（土）
（花と苺のフェスティバルでのステージイベント内）

目的：農業の現状や生産者の農業に対する思いの発信

ゲスト：UTSUNOMIYA BASE

渡邊裕規さん（宇都宮ブルックス現役選手）

西澤代志也さん（栃木SC元選手）

内容：農業を始めた経緯、UTSUNOMIYA BASEの活動 等

約160名の観客を魅了



【各構成団体の取組】

- ① 栃木県農業振興公社（とちぎ食と農ファン拡大体験講座）
- ② 大田原市（大田原とうがらしの郷づくり推進協議会）
- ③ 塩谷町（しおやスローマーケット）

【栃木県農業振興公社】 とちぎ食と農ファン拡大体験講座

目 的：県民の食と農の理解を促進し、とちぎの農産物へのファンを拡大するため、
とちぎの食と農をより深く学ぶことができる農作業体験や調理体験の開催

開催日：5回（令和6年7月～令和7年2月）

参加者：県内の児童・生徒（中学生以下）とその保護者等 41名

参加者の感想：

「食の大切さや農業の大変さ・楽しさを体験ができて、子供達に良い刺激と勉強になった。」
「とちぎの農業が学べる有意義な講座だったので来年も参加したい。」 等



第1回新じゃが収穫体験



第4回スイートポテト調理体験

【大田原市】 「大田原とうがらしの郷づくり推進協議会」の取組

栃木三鷹の更なるPR及び豊かな地域社会づくりに向け、小中学校への農業体験やイベントの開催、他業種との連携による商品開発等の取組が評価され、令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業において『農林水産大臣賞』を受賞



市内小中学校への苗の配布



ほ場見学会（生産者の会）



とうがらしフェスタ



さんたからあげ（商品開発）

令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業関東ブロック表彰式



【塩谷町】しおやスローマーケット企画 親子農スポーツフェスと農産物&加工品の直売会

目 的：環境にやさしい農業の取組みの理解を深める

開催日：令和6年11月9日（土） 10:00～13:00

場 所：塩谷町役場 横の田んぼ（有機農業実証ほ場）

内 容：米袋とび競争、大玉ころがし、つなひき、
しっぽとりゲーム 他



【県の農産物PR・農業への理解促進に関する取組等】

- ①地産地消の拡大
- ②とちぎの農村めぐり
- ③いちご王国・栃木プロモーション
- ④花と苺のフェスティバル
- ⑤栃木県牛乳消費拡大月間

①地産地消の拡大

<地産地消モデル展開>

県内の社員食堂や学生食堂等での地場
産物の導入実証

○実績

- ・ 3施設（大学、企業、病院）での実証
- ・ 実証の結果を踏まえた事例集を作成後、展開予定



<学校給食における地産地消推進>

地域と連携した給食メニューづくりや地域
内供給体制の構築の支援

○実績

1町、1団体へ支援

※いずれも、地産地消給食メニューの開発・提供を実施

ランチ通信

令和6年度 10月
宇都宮短期大学附属中学校

虫の声が秋の訪れを告げています。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などといいますが、何をやるにも気持ちの良い季節ですね。10月11日は地産地消給食の日です。地産地消とは地域で生産したものを地域で消費するという意味です。地産地消は安心・安全で新鮮な食べ物が食べられるだけでなく、日本の食料自給率の向上にもつながります。

地産地消にはメリットがたくさん♪

- ★ 生産者の顔が見え、安心・安全
- ★ 新鮮でおいしく、旬を味わえる
- ★ 運搬距離が短いので、二酸化炭素の排出量が少なく、環境に優しい
- ★ 消費者の声を受けて、生産者の生産意欲が高まる

10月11日地産地消給食から栃木県の生産物をピックアップ!

◇ ごはん

◇ 鶏肉と蒸し大豆の味噌炒め（鶏肉、大豆）

◇ 揚げ餃子（豚肉、キャベツ、にら）

◇ もやしとにらのごま和え（もやし、にら）

◇ 牛乳

（ ）の中の食材が栃木県産です。

<10月13日は豆の日>

日本では旧暦8月13日の十五夜と9月13日の十三夜に月見をする風習があります。十三夜には豆を備える習慣があり、豆名月とも呼ばれています。豆の日は豆名月の風習にちなんで、新暦の10月13日が記念日とされました。豆類はエネルギー源となる炭水化物はもちろん、たんぱく質やビタミン、体に不足しがちなミネラルを豊富に含んでいます。

◎大豆

天然のサプリメントと重なるほど栄養価の高い大豆。豊富なたんぱく質が魅力で、畑の肉とも呼ばれています。栃木県は全国で有数の生産量を誇り、県内全域で生産されています。県内で生産されている主な品種は「里のぼほえみ」で、11日の給食にも里のぼほえみを使った料理を提供します。

～大豆は変身上手！～

大豆はそのままを食べるだけでなく、様々な食品に加工されます。中でも味噌、しょうゆ、豆腐は和食に欠かせない食べ物ですね。

～蒸し大豆の魅力～

◎大豆の栄養が凝縮されている
◎大豆のうまみがたっぷり含まれている

②とちぎの農村めぐり



(R7.1.31時点)

農村地域の魅力や都市と農村の交流に関する情報を広く発信し、**ファンやリピーターの増加、回遊性の向上、滞在時間の延長等を促進し、本県農村地域の活性化や所得向上を図る**

<誘客促進イベントの開催>

○デジタルイベント

「とちぎの農村めぐり#とち農ミッション2024」

- ・参加者数約2,000人
- ・LINEを活用したクイズとスタンプラリー
- ・栃木県道の駅連絡協議会と共催で開催
- ・85施設が参画



<情報発信の取組>

○専用HP

- ・R6年度(4~1月) 訪問者数：196,809人
- ・スポット情報：548件
農村地域で体験できるスポットを紹介
(例：農産物直売所、フルーツ狩り、農村レストラン)
- ・ブログ：313件
農村地域の魅力ある施設等を紹介

※ スポット・ブログ記事について、
エリア・季節・カテゴリで絞り込み検索が可能

○SNS

- ・Instagram：フォロワー約3,650人
- ・LINE：登録者約7,100人
農村地域で開催されるイベント等を紹介



とちぎの農村めぐりHP

③「いちご王国」プロモーション

<「いちご♡を贈ろう運動」キャンペーン>

いちごを贈る文化を後押しし、全国に栃木のいちごのファンを拡大する“大切な人にいちご♡を贈ろう運動”を啓発するため、プレゼントキャンペーンを実施

期 間 令和7年1月11日～2月28日
場 所 県産いちごの配送を行う県内直売所や道の駅 観光いちご園など

キャンペーン加盟店 当店舗の配送カウンターにてお申込み受付中！

抽選で 合計300名様に いちご王国の賞品が 当たる！

大切な人にいちご♡を贈ろう運動キャンペーン

Dear! ストロベリー プレゼント

栃木県 ならではの 栃木県産のいちごを贈って、もらって広めよう！ いちごやいちご加工品が 当たるチャンス！

キャンペーン期間 2025年1月11日～2月28日

キャンペーン内容 本キャンペーン加盟店にて 栃木県産いちごを2パック以上購入し いちごを贈った方と、いちごをもらった方に 抽選で賞品が当たります。

栃木県産いちごの主な品種 とうきょういちご、とうきょうとろ、ほろいちご、白ふくやま

<「いちご王国・栃木の日」記念イベント>

「いちご王国・栃木の日」を記念したイベントを開催

期 間 令和7年1月19日（日）
場 所 栃木県庁及び議会議事堂など
内 容 ・いちご王国マルシェ
・ステージイベント
・出張いちご狩り体験
・いちご型熱気球搭乗体験
・プロスポーツチームによるスポーツ体験 など



④花と苺のフェスティバル

目 的：県産花きの生産振興と消費拡大を図るため、子どもを中心とした若い世代に
栃木の花に触れてもらい、花への愛着を深めてもらう等

開催日：令和7年2月22日（土） 10:00～15:00

場 所：栃木県庁

内 容：ステージイベント（栃木県花の展覧会表彰式、いちご王国パフォーマンス、
高校生による花活けパフォーマンス等）、フラワーディスプレイ
体験教室（お花の染色教室、プロが教えます！買ってアレンジ教室ほか）
切り花、鉢花、いちご、いちごスイーツの販売、ミニ体験コーナー 等



⑤栃木県民牛乳消費拡大月間

○目的

県産牛乳の消費拡大を図るため、8月を「とちぎ☆夏ミルク」、12月を「とちぎ☆冬ミルク」キャッチコピーに、県民への理解を深める取り組みや、栃木県牛乳普及協会と連携したキャンペーン等を実施

【とちぎ☆夏ミルク（8月）】

- ・パック・トゥ・ザ・マウンテン（県職員の牛乳の消費を促進する取組）
- ・ミルククイズ（県庁15階において、こどもを対象としたクイズを実施）
- ・とちぎ☆夏ミルクプレゼントキャンペーン（主催：栃木県牛乳普及協会）

【とちぎ☆冬ミルク（12月）】

- ・パック・トゥ・ザ・マウンテンPart 2（8月の取組を継続して実施）
- ・とちぎ☆冬ミルク牧場（折り牛牧場）（県庁15階に、県民参加型のコーナーを設置）
- ・とちぎ☆冬ミルクプレゼントキャンペーン（主催：栃木県牛乳普及協会）

8月・12月は
「栃木県民牛乳消費拡大月間」

8月は「とちぎ☆夏ミルク」

12月は「とちぎ☆冬ミルク」

を合い言葉に

みんなでおいしい栃木県産の牛乳を飲モ～！

ねえ、ちょっと
「夏ミ」しよ。



「冬ミ」で
温まろ。

とちぎ☆冬ミルク
プレゼントキャンペーン

応募期間 2024年12月1日日 ▶▶ 2025年1月31日金

ぐくぐく飲んで豪華賞品も当てよう！